

二葉 東京支部だより

今だからこそ

縦糸と横糸をしつかり重ねる時



会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

十六年の総会は、学年幹事の皆様や多くの会員の皆様のご協力の下に、時代に対応した新たな取り組みに向けて協議が重ねられました。先輩方の汗の染み込んだ絆を末永く受け継ぎ、支部の発展に向け会員の皆様の熱き思いが語られる中盛況に終わることが出来ましたこと紙面をもちまして、心より感謝申し上げます。

「社会の流れの変革」に支部内規の見直しが求められ、時代を見据えた新たな同窓会の取り組みが求められることとなりました。

前岩井支部長より、十七年度東京支部支部長という重責あるバトンを引き継ぎ、役員会・幹事会等の年間行事を進める中、「予算編成の組み替え(運営内規5の改正)、二葉便り毎年発行など」新たな取り組みを、手探りではありますが、役員一同前向きに責任感

平成17年度 東京支部 役員



東京支部長 江原美規子

をもって取り組む姿勢は「質実・剛健」の精神が受け継がれていることを実感させられます。

母校が百周年を迎えることとなりますが、少子化が加速する中で新たな歴史が積み重ねられることとなりますが同窓生にとりましても大きな喜びであります。

母校の誇りある伝統を脈々と受け継いでいく上に、先輩・後輩の

会員の結びつきを根幹に据え、同期の絆がより強く構築されていくことが求められます。即ち、東京支部を支える会員の皆様が、「先輩・後輩の縦糸(幹事会)」と「同期会の横糸」とをしつかりと織り重ねていくことが、東京支部の更なる飛躍へと実を結ぶと信じております。

「総会」が近づいて参りました。総会では会員の皆様が時間を共有し、青春時代に思いを馳せ、新たな思い出を重ねて頂ければ幸いです。一人でも多くの皆様のご出席を役員一同お待ちしております。

- 記録 宇田川美和子 (高23回)
- 石上 美保 (高23回) 副支部長
- 木下 早苗 (高15回)
- 奏 記録 礼子 (高23回)
- 江原美規子 (高14回) 支部長
- 平林 順子 (高18回) 副支部長
- 永田 福子 (高14回)
- 会計 鈴木れい子 (高18回) 副支部長
- 北村 幸子 (高15回)
- 会計監査 田中みどり (高16回)
- 春宮みつほ (高16回)

本部定期総会のお知らせ

日 時 平成18年 5月16日(火) 9:30~
 会 場 RAKO華乃井ホテル
 ☎ 0266-54-0555
 講演講師 中山和子氏 (高校2回卒)
 演題「土屋文明と二葉(諏訪高女)の教え子たち」
 会 費 4500円
 申 込 本部事務局 ☎0266-52-9595

平成18年 東京支部総会のお知らせ

日 時 平成18年 5月30日(火) 10:30~15:30
 会 場 日本青年館
 4F ホテル宴会場「アルデ」(元東洋軒)
 ☎ 03-3475-2525
 講演講師 藤原咲子氏 (作家)
 演題「我が母を語る」
 会 費 5000円(昼食パーティー)



東京支部だよりに寄せて

同窓会整備事業に

ついて

同窓会長

三橋紀代子

母校は平成十九年に百周年を迎えます。学校、PTA、後援会、同窓会の各代表からなる事業準備委員会が設置され、現在活動を進めているところです。事業の一つに「同窓会整備部」という部門も作られましたので、東京支部の皆様にご紹介し、大きな節目を迎えるにあたり、ご協力を切にお願いするものです。

事業は大きく五つに分かれています。

①同窓会記念室整備

校長先生のご尽力により、県立学校の一室を同窓会がお借りすることができました。同窓会の拠点として、日々活用されます。正門を入って向かって左奥の、第二体育館の南隅にあります。

②専属の事務職員の雇用

長年PTA、後援会とで人件費を出し合って、一人の事務員さんを雇用してきました。百周年事業を進めるにあたり、同窓会専属の事務員さんを雇用し、記念室で事務をしていたいております。在室時間は原則として月・木の九時

～二時半です。

③機器の設置

・電話（ファクス付き）

二六六一五二一九五九五

同窓会への連絡にお使い下さい。

・カラーコピー機

百周年記念誌の編集にはなくてはならない存在です。

・パソコン

理事会の通知、資料作り、名簿管理に大活躍しています。

・セキユリテイー

会員の名簿や大切な資料を保管している記念室です。学校側か

らの強い希望もあり、単独のキ

ーポストを警備会社と契約し設置しました。これらの費用は、

記念事業予算から捻出されています。

④同窓会名簿整備

個人情報保護法の関係から、販売される同窓会名簿は大きな危険を伴うということにより、記念事業として発行をしないという決定がなされました。しかし、活動に

名簿は不可欠です。今「名簿係会」を立ち上げ、名簿の見直しと

管理システムの検討を進めています。

⑤終身会費未納者の問題

昭和六三年以前に卒業の会員か

らは、三千円の

終身会費を納め

ていた方が決

められていま

す。(六三年以

降は入学時納

入)

未納の方には、

会報「ふたば」

や記念事業のお

知らせなど届

ける事ができ

ません。「会費係

会」も立ち上げ、未

納問題解決のた

めに努力してい

るところです。

感じ取ることができ、嬉しく思

いました。

母校の更なる前進のために、伝

統の「自主・努力・感謝」に加え、

「生徒一人ひとりの個性を伸ばし、

主体性を持った心豊かな生徒の育

成」をスローガンに、教職員一同

全人教育を目指して



二葉高等学校校長 古原 正之 諷訪

東京支部の皆様こんにちは。昨年引き続き、東京支部総会では大変お世話になり、有難うございました。相変わらずの盛会ぶりに、改めて皆様の母校への深い愛情を

先日の体験入学には七〇〇名を越える中学生が参加しました。

進学実績に加え、多彩な学校行事、盛んなクラブ活動等に見られる二葉高校の全人教育が評価されています。今年度の音楽会は諷訪市文化センターで実施し大成功を納

一つは、異年齢間コミュニケーションです。人間関係の希薄化が指摘される中で、前後五年の年齢差の交流が果たす機能は、教科の授業だけでは補えないものがあります。次に、良質な「負け経験」です。

文武両道を標榜する学校が多い中で、二葉高校はまさにそれを実践していることに私は誇りを感じています。例えば、「武」についてですが、私は三つの効果を考えております。

敗北から立ち直る経験は、自信とともに、我慢強さや奢らない謙虚な人間を育てます。そして、文化資本の蓄積です。部活動等で身につけた経験や知識技術は、自他のこれからの人生を豊かにします。さて、母校は平成十九年秋に創立百周年記念式典を挙行します。現在、準備委員会により、その他の記念事業の準備とともに着々と進んでおります。



パソコンやカラーコピー機が設置された同窓会記念室



委員のため、職員目録の整備、事務員さんの集まる右専属の黒田

※十六年度卒業生の動向は六ページに掲載

平成十七年
総会報告
十七年度副支部長
永田福子(高校14回)

外苑の新緑が美しい平成十七年五月二三日、東京支部総会が日本青年館で盛大に開催されました。母校からは、古原校長先生はじめ、同窓会本部役員三名、そして鮎沢先生、角田先生、野村先生、近田先生にもご出席いただき二三八名の参加のもと楽しい一日を過ごしました。

伊藤久子副支部長の開会挨拶の後、三澤章子さん(高校12回)指揮、島川真知子さん(高校21回)伴奏で懐かしい校歌合唱。引き続き物語者の皆様に慎んで黙祷を捧げました。

岩井支部長からは「今年度の大きな改革の一つとして、隔年発行だった会報を毎年出すことにしました。そのことにより、同窓会の動きだけでなく、会員の便りや活躍ぶりなどもより多く、またより早く知ることができ、会員相互の交流も盛んになると思います。ひいては東京支部が今に生きる魅力的な同窓会へと発展して行く事にもつながると思いますので、ご理解とご協力をお願いします」との挨拶がありました。

古原校長先生からは、ユーモアを交えて学校の様子、生徒達の活躍ぶりを、大久保同窓会副会長からは、母校の創立百周年記念事業の進行状況など、報告を交えた祝辞をいただきました。

第二部は、絵本作家葉祥明先生による講演でした。特に詩の朗読は心が癒され「生きているって素晴らしい」そんな気持ちになり、精神世界の高まりを感じました。

第三部は茶話会。新役員より高女三四回生六名へ、感謝を込めて花束の贈呈。代表で矢崎花子さんが挨拶され、今の気持ちを和歌に詠って下さいました。

八十才と生きながらえて
今日ここに

麗しき人らに会うぞ嬉しき
続いて大村はま先生を偲んで、中山登美子さん(高女32回)が「いつまでも心に生きている大村はま先生です」と話されました。

アトラクションは、朝倉美芳さん(高女13回)による語り聞かせ「ペロ出しチョンマ」でした。聞く人たちの想像力をかき立てる、迫真の語りに思わず引き込まれてしまいました。

最後に「白き翼」「今日の日はさようなら」を、全員で心楽しく、元氣一杯に合唱しました。十八年の総会でまた再会できることを誓いつつ、充実した長い一日は幕を閉じました。

平成16年度諏訪二葉高校同窓会東京支部会計報告

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

1. 本会計

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	予算	収入金額	備考
1 前年度繰越金	2,071,189	2,071,189	
2 維持費	1,650,000	1,660,260	振込み1,296,260(1,398名)、現金364,000(369名)
3 寄付金等	0	39,000	会員より
4 雑収入	50	41	預金利息
収入合計	3,721,239	3,770,490	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	予算	支出金額	備考
1 総会講師謝礼・お車代	120,000	120,000	
会場費用・諸経費	110,000	54,820	
2 名簿積立金	200,000	200,000	名簿基金へ
3 会報作成費	220,000	194,620	東京支部便り「二葉」第9号
4 弔慰金	10,000	3,480	弔文レタックス
5 役員通信費・交通費	107,000	103,400	役員通信費37,000、交通費66,400
6 役員会費用	141,000	146,653	役員会6回分
7 幹事会費用	285,000	245,620	幹事会2回分
8 送料・通信費	380,000	356,105	総会案内・宅配便・葉書代
9 印刷費・コピー代	65,000	118,315	資料、封筒印刷、紙、コピー
10 事務用品	10,000	10,993	
11 渉外連合同窓会	85,000	76,800	本部総会交通費、歴代支部長会補助、旧役員慰労会補助
東京同窓会	66,000	45,000	東京同窓会連、南信同窓会連
12 雑費・予備費	20,000	4,260	振込み手数料・写真代など
支出小計	1,819,000	1,680,066	
13 同窓会基金積立金	0	39,000	寄付金等より
14 次年度繰越金	1,902,000	2,051,424	
支出合計	3,721,239	3,770,490	

2. 東京支部名簿基金

(単位：円)

項目	予算額	実行額	備考
1 前年度繰越金	1,198,000	1,198,000	
2 平成16年度積立金	200,000	200,000	
合計	1,398,000	1,398,000	次年度同窓会基金へ繰越

3. 東京支部同窓会基金

(単位：円)

項目	予算額	実行額	備考
1 前年度繰越金	1,052,000	1,052,000	
2 寄付金等	0	39,000	
合計	1,052,000	1,091,000	次年度繰越金

※総会会計報告

収入

・会費(5000×249人)	1,245,000
・本部より会場費	10,000
・ご祝儀	50,000
・本会計より	174,820
合計	1,479,820

支出

・シダックスフードサービス会食代	1,281,539
・講師謝礼	120,000
・諸経費	78,281
合計	1,479,820

上記の通りご報告いたします。

平成17年3月31日

会計係 杉村 ちえ子 ㊟
竹村 さえ子 ㊟

上記は会計監査の結果間違いありません。

平成17年4月26日

会計監査 稲村 和子 ㊟
金子 紘美 ㊟

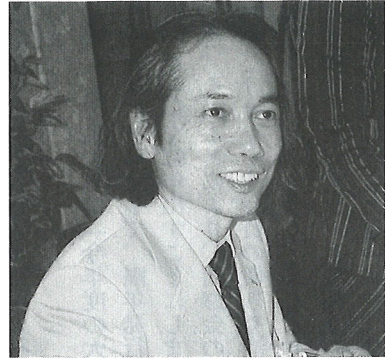


高女34回生へ花束の贈呈

※活動内容はP6へ掲載

絵本を通して心の平和を

葉 祥明 先生



のか」と思っただけで下されれば幸いです。絵から入るか、本人から入るか。本当は絵から入る方がいいんですけど、絵から入るととても奇麗ですから。

①スライド

①丘の上に家が一軒。この絵のように熊本のご郷、阿蘇高原にこのような丘があります。そこにこの絵のように葉祥明美術館を作りました。美術館に行くときつたこの絵のようになっております。

僕の絵本は三〇年ずつと野原を描き続けてきました。国語の教科書とか、テレビのタイトルに使われたこともあります。

②これは海です。丘でも山でも海でもすべて僕の心の中のもので③これはサンフランシスコの公園で出会った時のことをもとに描きました。飛べない鳩が公園にいたのでこれを救ったのですが、その時の僕は白い犬になってジェイクという名前になりました。

ベトナム戦争の時沢山の地雷が残されました。地雷は、少しの火薬で手足を吹き飛ばせるという大変にひどい武器です。罪のない人達が毎日何十人も被害にあっています。

こんにちは。今日は同窓会というのですが、拝見したところ、僕の姉とか母親の年齢位の方々の集まりでしょうか。どうぞ僕を弟だと思っただけで下さい。そんな弟が絵本作家になって、ちょっと名が知れるようになって、無事食っていきけるようになったと、我がことのように喜んで弟の言うことに耳を傾けていただければと思います。

この絵本の世界に入って三五年位たちますから大方はご存じだと思っただけですが、僕の事を知らない人もいるかもしれません。僕の絵本をご存じの方は九五%が女性です。それでもご存じでない方のためにスライドを写します。スライドを見て「ああ、あの絵本見たことがある」「それがこの弟だった

ます。

難民を助けるボランティア団体の「地雷ではなく花を下さい。」という運動に協力しています。地雷除去や犠牲にあつた方たちのリハビリの費用

にこの絵本の売上が使われています。どうぞ皆様ご協力下さい。

続いて④リトルブツタ⑤ぼくはちぞう⑥ヒーリングキャット⑦イルカの星⑧星空のシロ、を紹介。

⑨最後は絵本ではなく北鎌倉にある葉祥明美術館です。絵だけでなく、ソファーや絵本もあるし、ノートもあってあります。

ノートに書かれた中で印象に残ったものを披露します。「十七年間我慢に我慢を重ねて来ました。もう我慢がでさずに家を出て来ました。でもここに居る



間にもう一度頑張ってみようという気になりました。」

この美術館は絵を見てもらうだけでなく、この美術館を必要としている人のためにあるのだなあと知りませんでした。現実と絵の世界が融合しているのがこの絵本美術館です。

ここで癒されても一度やってみる元気がでたなら幸いです。

その他「生と死」の問題や、これからの女性の生き方についても触れました。

今日皆さんは東京のど真ん中の日本青年館に来ております。今、ここに一応参加しておりますが、生活はどうでしょうか。皆さんの父母の年齢になったらどうでしょうか。僕の家内の八八歳の母親が近くの介護付き民間アパートにいます。これから益々こういふふうになります。皆さんもそうなりますし、僕

もそうなるし、この先どうなるのでしょうか。

皆さん今日は街に出てきました。ですから今日は一日ゆっくりくつろいで下さい。こういう日を年に一回でなく、これからは月に一回、友達に会ってお茶を飲んでほしいし、映画を見るのもいいと思います。そういう日を月に一回まずやってみて下さい。毎月一回を三回位にもつてきて、そして、次は週一回。週一回のお休みの日があつてもいいのです。とにかく一人になれる時間を大いにエンジョイして下さい。それが積み重なればいつか、そういうものに耐えられるし、自分らしさを少しでも出すことができるのではないかと思います。皆さんも遅くは無い。生きている限り自分捜しの旅に出掛けて下さい。

最後に詩の朗読がありました。

講師プロフィール
一九四六年熊本に生まれる。二四才の時ニューヨークに留学、油絵を学ぶ。七二年「ぼくのベンチにしろいとり」を初出版。九〇年「風とひょう」でポロニーヤ国際児童図書展グラフィック賞、九七年「地雷ではなく花を下さい」で日本絵本賞読者賞を受賞。その他、多方面で活躍中。

副支部長候補の 選出を兼ねて

両角良子 (高校16回)

私たち十六回生は、昭和六十一年から東京支部に参加しています。今回の集まりは、親睦を兼ねて東京支部の役員を選出するため、平成十七年七月三日(日)京王プラザホテルで同期会(同年会と名付けられています)が開催されました。参加者十数名が自己紹介を兼ねて近況報告をしました。還暦を迎えてもなお現役で活躍されている方、新しい夢に向かってさらなる挑戦をされている方など、大変有意義な時間を過ごせたと思います。その後十八年度の役員(副支部長二名)の選出を行いました。後

同期会だより

日推薦者の方に連絡をすると、都合がつかない方が多い中、二名の方が「十六回生のためなら」ということで快く引き受けて下さいました。また、十六名の幹事も決まり、心から感謝申し上げますと共にみんなで応援していきたいと思えます。

私たちは六〇歳という大きな節目を迎えています。夢と希望を胸に何事にも一生懸命だった青春時

代を思い出すと、「元氣・勇氣・やる氣」が湧いて来るのは私だけでしょか。これからも同期会が開催されます多数の方の参加をお待ちしています。



副支部長候補の
佐々木雅子さん(左)小口せつ子さん(右)

話に花が咲いた同期会

西村直子 (高校19回)

第十四回同期会は、十月二日浅草のフランス風ロシア料理の店、ボナフェスタで九名の参加で開催されました。本日は十一名の予定でしたが、お二人は直前に体調を崩され、お会いできずに残念でした。料理を楽しみながら、お互いの近況などを報告しあいました。

予定よりも長く居させていたただいたお店を後にカラオケルームへ！ もりあがりましたよ。でも歌でなくお話の続きに！ お互いの悩みや人生の考え方をいっぱい話してきました。また、卒業アルバムを見ながら昔の面影を探したり。わかるものですね。卒業して

一度も会っていないくても。話しているうちにだんだん顔が昔に戻っていくような気がしました。我々の年代は、親の介護あり、子供の独立ありで、気苦労の多いまた、身動きの出来ない年でもあります。今回残念ながら出席できなかった方、今回出席された方ももちろん、今回の同期会には是非ご出席下さい。今年中に開催予定です。お楽しみに。



にいよん通信

後藤多美子 (高校24回)

二四回生の同期会を開くことができるので、その代わりになればと思いい「にいよん通信」を年一回発行し、総会資料に同封してきました。担任だった千田先生には、クラ

ス替えをしないで欲しいという運動が起こったこと、音楽鑑賞の時「赤い鳥」にノーギャラで来てもらったことなど、アクティブな活動を紹介してもらいました。

赤羽先生には、体育祭の全校民謡、バトミントンでインターハイに出場したことなどを寄せてもらいました。

総会参加の方からは「参加したおかげで、自宅近くにお住まいの、素敵な先輩に会うことができ、お付き合いが始まりました。」との文も掲載できました。

十八年度初めて東京支部の役員を選出するにあたり「にいよん会幹事取り決め事項」を提案しました。幹事は各クラスの名簿の一番から順番に、役員はクラス順に選出するというものです。早速一部の方にお願ひし、記録三名を選出してもらいました。

いつか同期会が開かれることを願っています。

五一回目の同期会

竹中みつる (高女35回)

私達は平成十七年に五一回目の同級会を開催しました。新緑に囲まれた日比谷公園内のレストランで楽しい一時を過ごしました。これまでの会では、四方山話に花が咲いた後「信濃の国」や「白き



翼」を歌いセーラー服姿を懐かしく思い浮かべることがありました。また、三井先生や赤羽先生のご出席を頂き有益なお話をお聞きした事もありました。北海道の塩原先生には会の写真を差し上げて大変喜んで頂きました。なお、三井先生の叙勲祝賀会を特別にもちました。毎年交替する当番に、三冊の会計簿と一冊の同窓会東京支部幹事会記録ノートが引き継がれております。その他に、会の記念アルバムが有りました。この写真は今までの同窓会の歴史を見るのに大変役立ちましたが、引継ぎ荷物が重くなるので四〇回で中止して、最初に作った方にお返ししました。五二回目の会は平成十八年四月二六日に開催します。八〇歳を越えても、仲良く会を続けて行きたいと願っております。

図書紹介

『母への詫び状』(山と溪谷社)

藤原 咲子

著者は、新田次郎と藤原ていの第三子として、一九四五年敗戦間際の旧満州に生まれた。一カ月後、母ていは六歳と三歳の兄の手を引き、著者をリユツクの荷物と一緒に背負って、引き揚げる事になった。ようやくの思いで日本の土を踏んだのは一年後であった。(母ていによる小説「流れる星は生きている」は、この時の事をもとに書かれ、ベストセラーとなった)

想像を絶する過酷な状況下で奇跡的に生還した著者と母ていの、その後の五十数年の人生は、一読者としても、ていの同窓生としても大変興味を駆り立てられる内容である。十八年支部総会では、「我が母を語る」の演題で講演講師として予定している。他に

『父への恋文』も同社より出版されているので、合わせて一読されることをお勧め。

『忘れえぬ言葉』(小学館)

大村 はま

昨年の四月十七日、九八歳でご逝去された東京支部客員大村はま先生の最後の著書。大村はま先生は戦前戦後を通して五十二年間、一現場教師の職に有り続け、ベストロツク賞等も受賞し、「国語の神様」と称えられた。

本書は平成十六年十月三十一日東京国際フォーラムにておこなわれた、白寿記念講演(V D付)をまとめたものである。九八年の生涯できらめいた五つの言葉からなっており、第一話に、新任教師時代の諏訪高等女学校三村安治校長の言葉(昭和五年)を取り上げている。

平成16年度東京支部活動内容

役員 支 部 長 岩井志ず子 江原美規子 永田 福子
副支部長 伊藤 久子 竹村さえ子
会 計 杉村ちゑ子
会 記 録 荒井 勝枝 五味香保子 原 せい子
会 計 監 査 稲村 和子 金子 紘美

年月日	事 項	備 考
6/10	第1回役員会	年間事業計画、役員役割分担、
7/20	第2回役員会	第1回幹事会準備 本部理事会・同窓連関係について 次期定期総会案内発送実務について
9/2	第1回幹事会	16年定期総会会計報告、アンケート結果報告 16年度事業の進行状況、会報発行計画について 維持費納入者拡大について 内規改定、同期会活動報告
(H17)	歴代正副支部長会	現況報告と懇親会 (出席者29名/於アルデ)
1/10		
2/3	第3回役員会	中間会計及び監査報告、内規改定について 第2回幹事会準備 次期定期総会について 卒業生へ支部入会の勧誘方法について
3/3	第2回幹事会	中間会計及び監査報告 内規改定について 東京支部だより第9号の披露 総会関連事項検討、次期役員(案)について
4/7	第4回役員会 (拡大)	役員・次期役員候補者・関連学年幹事による総 会案内・会報等の発送作業
4/26	第5回役員会 (拡大)	役員・次期役員候補者による総会準備、役員引 き継ぎ会計監査
5/22	第6回役員会 (拡大)	役員・次期役員候補者による総会前日準備
5/23	平成17年総会	出席者238名(会員230名、来賓4名、客員4名)
・会報 東京支部だより「二葉」9号発行 ・本部理事会出席6回、本部定期総会出席、本部親睦旅行参加 ・南信同窓連出席5回、東京同窓連出席3回、南信同窓連親睦旅行参加 ・正副支部長4人会、臨時役員会随時実施		

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

(平成18年1月31日現在)

客員	大村 はま	H 16・4
高女	樋口 喜美恵様(岩波)	H 16・6
31	中島 市子様(中島)	H 17・9
41	羽毛田 多喜子様(関川)	H 17・10
34	武井 花子様(吉沢)	H 17・12
41	伊藤 博子様(山本)	H 17・11
34	林 あい子様(宮坂)	H 18・1
高校1	木之下 仁愛様(樋口)	H 17・11
4	真島 祥江様(宮沢)	H 16・7
14	田原 英子様(小林)	H 17・10
19	樹本 さと様(湯田坂)	不明

事務局だより

◇東京支部は千円の維持費で活動しています。納入にご協力下さい。
◇高校41回以前の方で、同窓会終身会費三千円未納の方(東京支部で約八百人)は本部事務局へご連絡下さい。また、ご自分や同期の納入状況を確認したい場合は、東京支部事務局でも知ることができます。

編集後記

同窓会が会社の営業として成り立つという時代に役員を引き受け、その難しさを痛感した一年でした。会報も隔年発行から毎年発行になりましたが、同窓会発展と会員相互の橋渡しになれば幸いです。



イラストカット・柴田百合子(高15回)

☆☆平成16年度卒業生の動向☆☆

(1) 進路状況 () 内は男子

卒業年度	卒業生総数	進学		就職		浪人・家居	
		人員	比率	人員	比率	人員	比率
平成16年度	234 (87)	194 (65)	82.9%	2	0.8%	38 (22)	16.3%

(2) 学校別進学状況 () 内は合格者延人数

卒業年度	国立大	公立大	私立大	国公短	私立短	専門	その他	計
平成16年度	21 (23)	10 (10)	92 (182)	5 (10)	17 (27)	47 (56)	2	194